

認知症グループホーム事業者の公募について

1 公募したサービスの種類等

認知症対応型共同生活介護（グループホーム）

整備目標年次	令和5年度
箇所・定員	1か所 18人
整備予定圏域	市内（糸魚川圏域、能生圏域、青海圏域）

2 経過

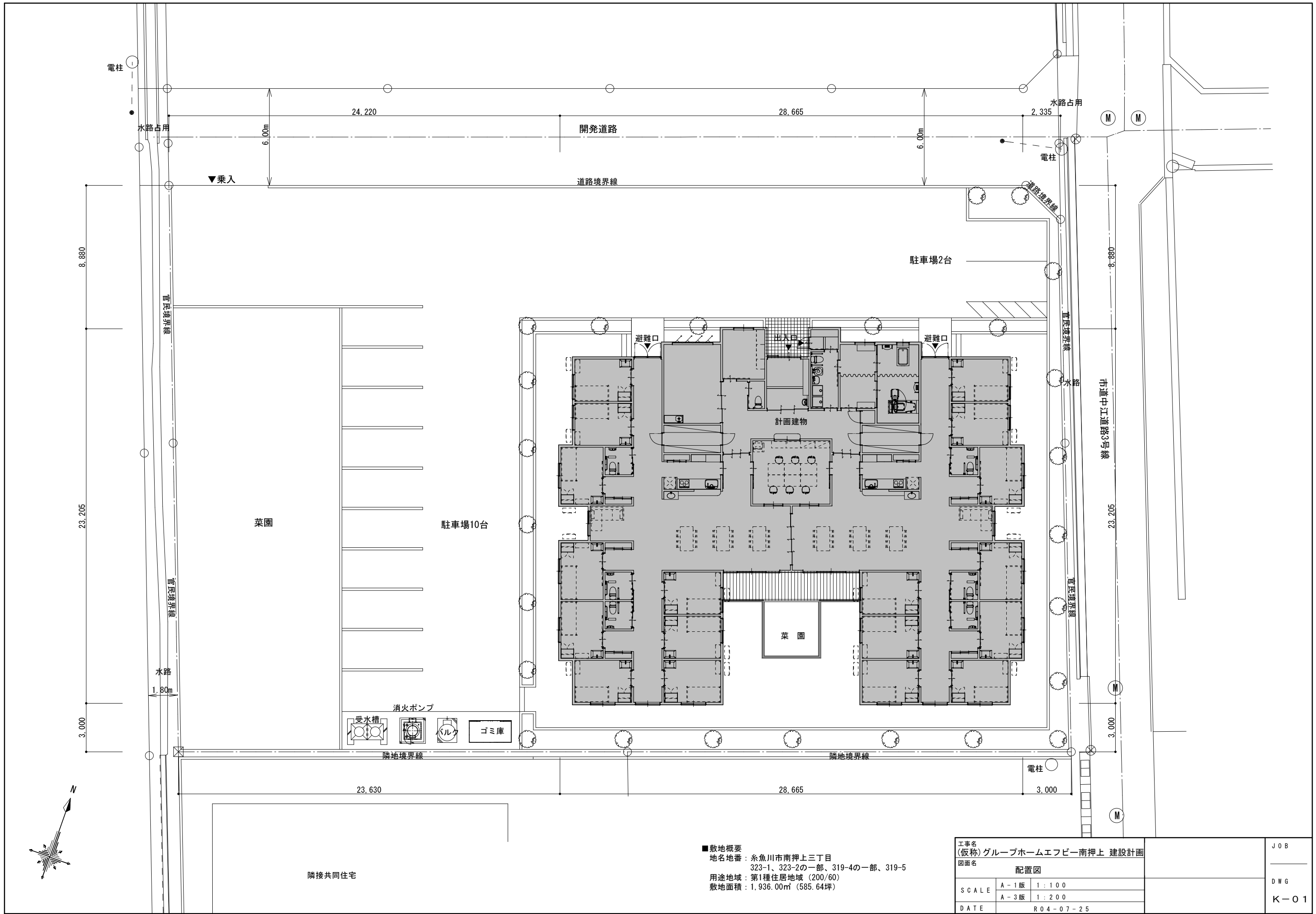
日程	項目
令和4年3月10日から5月20日	応募受付 ※〆切までに2者から応募あり
令和4年6月30日	事業者選定委員会 ※事業者候補者を1者選定 【委員：5名】 地域密着型サービス運営委員会：田原委員長、金子副委員長 市の職員：小林市民部長、磯貝福祉事務所長、 山岸地域包括ケア係長

3 事業者候補者の提案概要

事業者候補者	エフビー介護サービス株式会社（長野県佐久市長土呂159番地2）
計画所在地	糸魚川市南押上3丁目地内
敷地等面積	敷地面積：2,064㎡ 延床面積：535.98㎡
構造	木造 平屋建て 準耐火構造
開設予定	令和6年4月

(付近図)

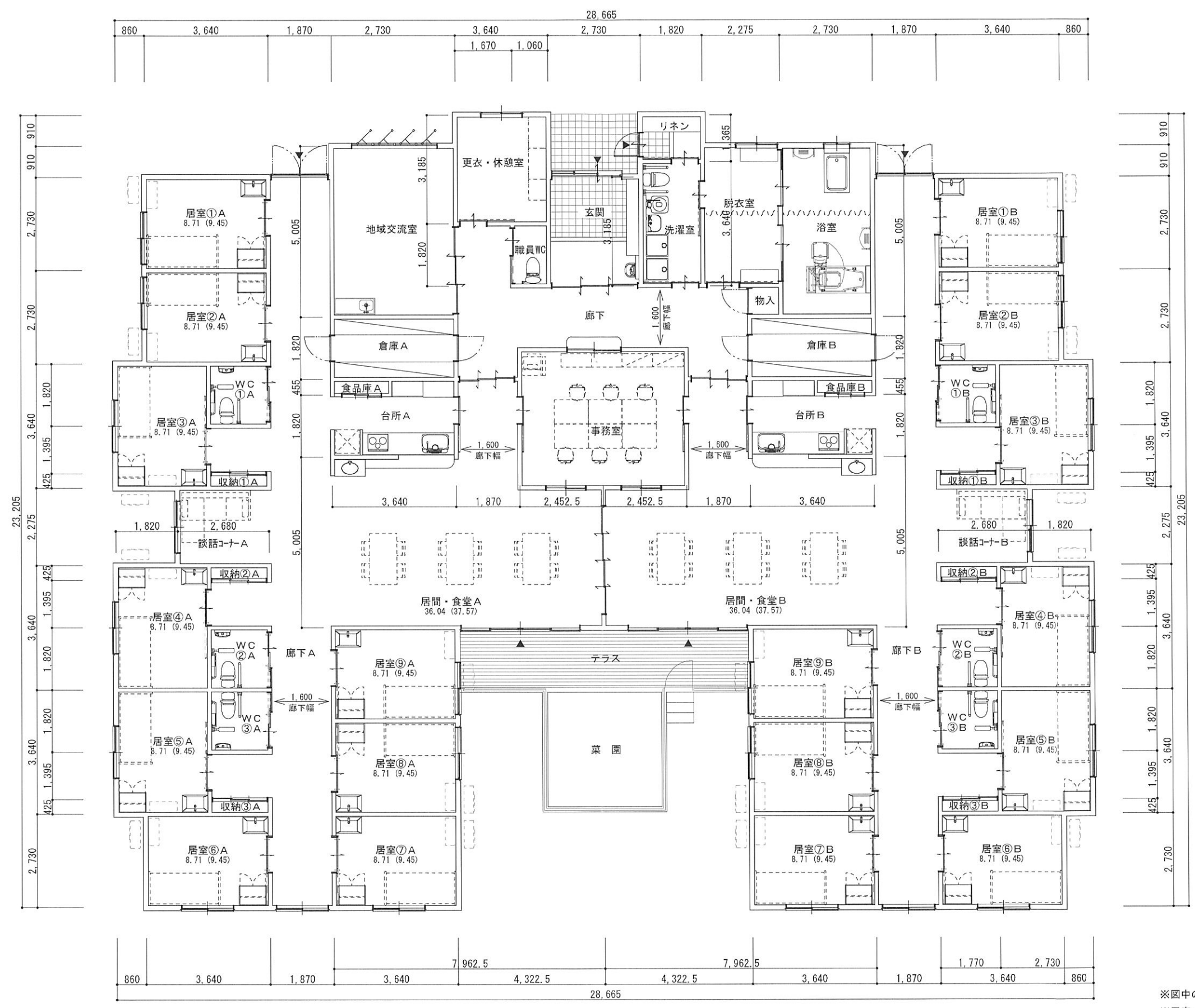




■敷地概要
 地名地番：糸魚川市南押上三丁目
 323-1、323-2の一部、319-4の一部、319-5
 用途地域：第1種住居地域（200/60）
 敷地面積：1,936.00㎡（585.64坪）

工事名 (仮称) グループホームエフビー南押上 建設計画		
図面名 配置図		
SCALE	A-1版	1:100
	A-3版	1:200
DATE	R04-07-25	

JOB
 DWG
 K-01



※図中の室面積 (㎡) は、内法面積 (壁芯面積) を示す。
 ※居室の室面積は収納設備 (0.48㎡) 面積を除く。

■ 建物概要
 木造 平屋建て
 準耐火建築物
 延べ床面積 : 535.98㎡ (162.13坪)
 建築面積 : 540.95㎡ (163.64坪)

工事名 (仮称) グループホーム南押上 建設計画		JOB
図面名 平面図		
SCALE	A-1版 1:60	DWG
	A-3版 1:120	
DATE	R04-04-22	

(仮称)グループホームエフビー南押上

**糸魚川市第8期介護保険事業計画に基づく
地域密着事業整備事業に係る
グループホーム公募について**

2022年8月18日(木)

エフビー介護サービス株式会社
代表取締役 柳澤 秀樹

エフビー介護サービス株式会社

介護事業部 運営指導課(施設整備担当)

山崎 聖文

介護事業部 新潟エリア長兼ケアライフ春日ホーム長

松崎 央

居宅介護支援事業所柏崎 管理者(新設事業所管理者予定)

笠原 史恵



グループホーム公募動機に関して

★挨拶・自己紹介

これよりエフビー介護サービスのプレゼンテーションを始めさせていただきます。私は、主に説明させていただきます介護事業部の山崎と申します。その他、新潟エリア長の松崎、そして、選定頂けた際の新設事業所の管理者予定の笠原も同席致します。どうぞよろしくお願いたします。まず、簡単に弊社のご説明をさせていただきます。

弊社は長野県佐久市に本社を構え、長野・新潟・群馬・栃木・埼玉各県で有料老人ホーム・訪問介護・通所介護・グループホーム・居宅介護支援・福祉用具貸与販売といった介護保険サービス事業の運営を通じて地域の皆様に介護サービスの提供をさせていただいております。介護保険事業所数は86事業所、役職員数は1190名（特定技能を含む実習生は30名）うち介護系に携わる職員は837名で介護福祉士の割合は46.7%であります。

**（介護系：837名 介護系事業所74ヶ所、用具系15ヶ所、合計事業所数：89ヶ所。
休止中除く）**

現在新潟県内では、上越市と柏崎市で事業展開しております。柏崎市では住宅型有料老人ホームと訪問介護・通所介護事業を、上越市木田地区で住宅型有料老人ホーム・訪問介護事業・通所介護事業・小規模多機能型居宅介護事業・居宅介護支援事業の複合型の事業所を構え、福祉用具の事業所を、柿崎区で小規模多機能型居宅介護事業と住宅型有料老人ホームを開設し運営しております。



1つの自治体に複数の事業所展開できるドミナント戦略の採用

- ・入居施設(住宅型)
- ・小規模多機能居宅介護事業
- ・地域密着通所介護
- ・居宅介護支援 事業所
- ・福祉用具貸与事業

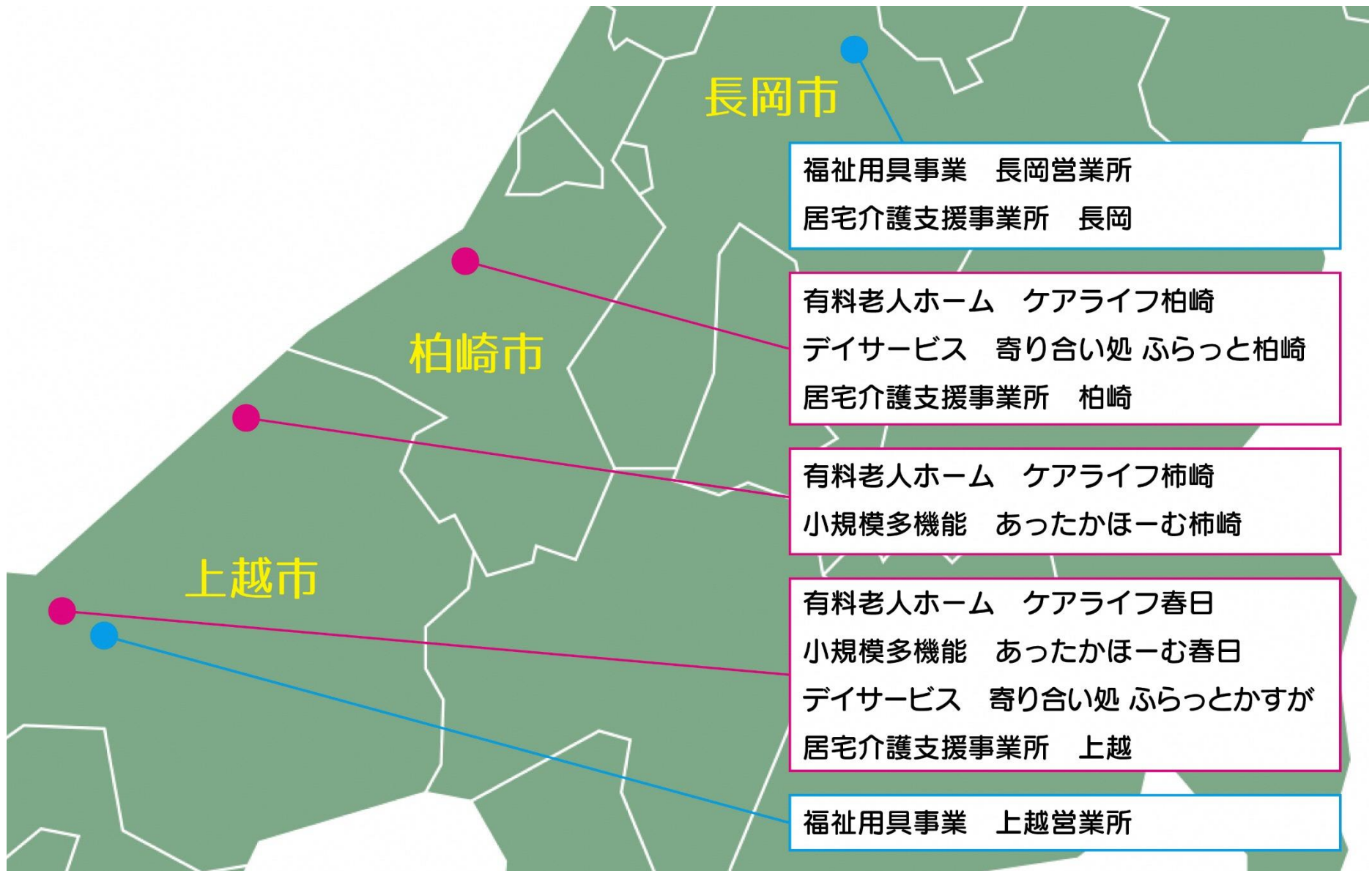
在宅から施設サービスまでワンストップのサービスを提供しておりますが
今回、**グループホームを運営**する事で
ご利用者様、ご家族様の選択肢が更に増え

『終の棲家』としてのサービスを提供する事ができる



1. エフビー介護サービス 新潟エリア事業所状況





有料老人ホーム
ケアライフ春日



上越市木田
2014年3月
開所

居宅介護支援事業所
上越



上越市木田
2005年4月
開所



小規模多機能
あったかほーむ春日



上越市木田
2014年3月
開所

デイサービス
寄り合い処 ふらっとかすが



上越市木田
2014年3月
開所



有料老人ホーム
ケアライフ柿崎



上越市柿崎区
2017年4月
開所

小規模多機能
あったかほーむ柿崎



上越市柿崎区
2017年4月
開所



有料老人ホーム
ケアライフ柏崎



柏崎市北半田
2014年8月
開所

デイサービス
寄り合い処 ふらっと柏崎



柏崎市北半田
2014年8月
開所



福祉用具事業
上越営業所



上越市新光町
2002年10月
開所

福祉用具事業
長岡営業所



長岡市高見町
2018年10月
開所



居宅介護支援事業所
柏崎



柏崎市岩上
2015年8月
開所

居宅介護支援事業所
長岡



長岡市高見町
2018年10月
開所



事業の実施方針について

弊社では7つの経営理念と4つの介護方針を制定しており、詳細は資料に記載の通りです。

7つの経営理念は

- ①福祉介護を通じて介護改革を実践し、社会に貢献
- ②地域密着、24時間、365日すぐやる、必ずやる、できるまでやる、全ては利用者様のために
- ③ES(職員満足)向上に向け全職員一致協力の下、エフビーグループ全部門連動体制の確立
- ④環境整備、コストダウンによりやさしい環境に貢献
- ⑤人格、品格、人間性の自己啓発をし、愛される人間を目指す。
- ⑥躰(マナー)を重視しスキルアップと法令遵守でCS(顧客満足)に努める。
- ⑦当たり前前を当たり前前、そして三配り(気配り、目配り、心配り)の確立

続いて介護方針です。この介護方針はGHケアを基本に作成しました。

私たちが大切にしている4つのケアは以下の通りです。

- ①個別ケア
- ②認知症ケア
- ③看取りケア
- ④地域ケア

経営理念と介護方針は、利用者様の要望と地域の皆様のご理解によって介護の質の向上と寄り添った支援を目指すうえで必要不可欠であり、全職員に【経営方針書】配布し朝礼時や会議時において読み合わせにより徹底を図っております。

職員のスキルアップのため、新任職員全員に対する初任者研修を義務付けるとともに、マナー基礎研修、リーダーや管理者層の階層別研修を行っています。また、外部研修として厚労省のキャリア形成助成金制度を活用し喀痰吸引研修も受講させています。



人材確保及び従業者の状況について

- ・介護現場にとって人材は貴重な戦力です。人材確保に向けたインターンシップによる職場実習は毎年実施し、その中の数名は入社しております。また、先輩社員によるマンツーマンによるチューター研修の実施により、不安や心配事を早期に発見し、戦力となれるような人材育成を行っています。
- ・福利厚生面においては、社内行事としてのスポーツ大会やバーベキューイベントを行い、自施設の職員だけでなく、様々なサービス種別の職員との交流を図ることを目的としています。
- ・介護職員の処遇向上を目的とした処遇改善手当や特定処遇改善手当の支給やキャリアパス制度の導入により自身のレベルにあった賃金テーブルの設定を行うことで業務に邁進できる体制づくりを行っています。

現在新潟県内の職員で下記の取得者が勤務しております

- ・認知症管理者研修修了者 5名
- ・認知症実践者研修修了者 7名
- ・介護支援専門員資格者 15名



職員配置計画について

- ①施設内の全職員は13名程度を考えております。**（常勤12名非常勤1名）**
介護職員については各ユニット6名ずつ配置し、常勤換算で3：1の配置を計画しております。夜勤については、各ユニット1名ずつの配置と致します。また、介護職員にあってはヘルパー2級若しくは介護職員初任者研修修了以上を、そして可能な限り介護福祉士の有資格者を配置するようにしていきたいと考えています。地域住民の雇用も行って参ります。
- ②職員のスキル向上にむけて、入社時におけるマナー研修をはじめリーダー等の階層別研修や職員全員に認知症ケアの専門研修を受講させるほか、介護度の重度化に対応するため、介護職員の喀痰吸引研修の受講も積極的に展開していき極力重度者の受入をいたします。

（参考）喀痰吸引研修修了者 82名



施設の運営方針

- 住み慣れた地域で最期まで生活が送れるような運営を目的としています。そのためには職員がノーマライゼーションを基本とした認知症対応を理解することが重要だと考えます。そのために認知症の外部研修等の受講してもらい認知症の正しい理解を身につけ利用者さまへの個別ケアに役立てていきます。
- 食事の提供については、職員が『温かいものを温かいうちに提供する』ことを心掛けています。また、利用者様にも食事作りに参加していただくことで、ADL、IADLの進行防止や張合いをもった生活を送っていただくことを目的としています。
- 第三者評価等の受審により、地域密着型事業のGHでは運営推進会議を2ヶ月に1回の開催により地域住民からの意見の汲み上げを行い、より良い事業所を運営できるように取り組んでいます。



施設の特長と建設地の選定理由について 1

木造平屋建のツーバイフォー工法で1ユニット9名定員の2ユニットとし、事務所を中心に各ユニットを配置することで、入居者が分かりやすいといった特徴があります。また、平屋建にすることで、災害時の避難においてもリスク軽減ができるようにしております。できる限り一般住宅に近い木造平屋建てのツーバイフォー工法で計画しました。

(1) 衛生面での特色としまして

- ①木造のため木材や天然素材の温もりが感じられ、入居者様に癒しの効果を与え、人に優しい住質感を大切にします。
- ②断熱材と省エネ等環境へ配慮した設備を導入した高性能遮熱シートの併用で冬暖かく夏涼しい建物としています。

(2) 防災面での特色としまして

- ①ツーバイフォー工法は、阪神淡路大震災においても耐震性の高さは証明されており地震に強い工法です。 **建築強度が市役所や消防署と同じレベルです。**（構造計算の重要度係数1.5）
- ②躯体内部の延焼を防ぐ為ファイヤーストップ材と呼ばれる火炎の拡散を防ぐ木材が適切に配置される事で、高い防火性能を持っています。
- ③キッチンにはIH調理器とし火災発生の可能性を極力小さくしています。



施設の特長と建設地の選定理由について 2

(3)その他としまして

- ①浴室は、中重度になっても利用できるメトス社製の昇降機能付きの機械浴槽と個浴対応でゆっくり安心して楽しむことができます。機械浴槽が不要な際は、一般個浴として利用できる浴槽としています。これまで歩んでこられた生活環境に近い状態で生活していただく為に今回の浴槽を導入しました。入浴介助が必要となっても、三方介助が可能な設計としております。
- ②居室内設備は、面積8.71㎡（約5.3畳）（基準7.43㎡・4.5畳）、ベッド、スプリンクラー、エアコン、カーテン、移動可能な収納、洗面設備を設けてあります。そして居室をまとめて配置することでわかりやすい配置となっています。
- ③共同生活室（居間・食堂）では居室以外で寛げるよう、そしてイベント時には各ユニットを繋げて利用できるように可動間仕切りを設けています。また共同生活室（居間・食堂）以外の利用者の交流スペースとして談話室を設置しました。また、共同生活室（食堂・居間）では、キッチンを対面式とすることで、入居者の状況を把握しやすくするような設計にしております。そして、入居者様が家庭的な雰囲気の中で、生きがいを持って生活していただき各自の能力に応じて食事の支度を職員と共同で行い生活していただくことで、ADL、IADLの進行を少しでも和らげるようなケアを目指していきます。
- ④地域の誰でもが立ち寄れる20㎡弱の「地域交流室」を設け、地域の一部として開放し、入居者との交流や、地域の皆さんの「憩いの場・サロン」や「地域向け勉強会・会合・趣味の会」等による利用としてもご活用していただきたいと考えています。
- ⑤駐車場から玄関、室内やベランダに至るまでバリアフリー化しております。



立地場所選定の理由

- ・糸魚川市の人口は令和2年10月現在約41,500人、高齢化率39.9%であり、今後団塊の世代のジュニアが65歳になる令和22年（2040年）には47.4%と推測されており、それに比例して認知症高齢者も増加し国の試算では5人に1人が認知症若しくは予備軍になると推測されています。今回計画地を選択した理由として、①地域に根差した事業所運営を行うため、②ご家族様が利用者様との面談においても公共交通機関であるえちごトキめき鉄道のえちご押上ひすい海岸駅や北陸新幹線糸魚川駅から近いこと。③糸魚川総合病院をはじめとする医療機関との連携が図り易いこと。④地元住民の皆様からのご要望もいただきましたので、総合的に考慮し当地での整備を検討しました。立地条件としては、「病院や施設のような今まで暮らしてきた場所と雰囲気が変わる場所での併設ではなく、地域に溶け込み閑静な住宅地に立地していること、（これは特に認知症の方は不安を感じたり混乱をまねく恐れがあるためです。）次に「近隣に医療機関や福祉・教育・商業施設等の様々な資源があり、地域社会や家族との交流を積極的に図ることができ、認知症の悪化を和らげる場所であることから同地が相応しいと考えます。生活環境においても、利用者がこれまで歩んでこられた生活環境に最も近く、隣接には住宅地も存在し閑静な地域であることから同地を選択しました。
- ・今回の建設計画にあたり、近隣住民に対する事前住民説明会は、5/12押上会館で実施し、杉本区長をはじめとする役員・住民の方々20名に向けて開催し、御賛同を頂きました。



利用料金について

建設コストや周辺状況を鑑み平成29年に開設した当社運営のグループホーム木綿の郷（栃木県）の実績に基づき設定しました。当時に比べ建設費が2～3割上がっておりますが、入居者様のご負担をなるべく軽減するよう努力しました。

又、過ごし易い建物環境の研究をし、納得いただける建物と適切なケアの提供による満足度を高めております。現在利用されている皆様からの料金が高い等のご意見はいただいていません。近年の建設コスト（材料費、人件費【職人の社会保障費】）が高騰している状況下では適切な設定と考えています。

入居費総額 138,000円

+

介護保険料 約24,000円（介護度2）

=約162,000円



地域との連携について

誰もが住み慣れた地域や自宅で安心して最期まで生活できるよう、慣れ親しんだ環境や人との繋がりを継続しながら地域との結びつきを重視した運営を行います。そして地域に愛されるような施設運営を行います。

施設内に地域交流室を設置し、入居者との交流や地域向け公開講座、地域支援セミナー等の住民向けの発信や高齢者支援に関する啓蒙活動、夏祭り等自治会行事への参加など積極的に参加して参ります。

また、地域での避難訓練への相互参加や緊急時の協力体制を整え、有事の際には『セーフティネットの役割』を果たし、近隣の方々の受け入れ等、地域として協力をしていきたいと考えています。

そして、運営推進会議の開催により事業所評価を受けると共に、必要な要望・助言を聴く機会を設け、地域の課題を汲み上げることを行います。



重度者への対応について

- ①重度者に対するケアについては、出来る限り重度化に対応できるよう職員への指導、研修また医師との連携を密にした体制を整備していきます。
- ②医療との連携については、入居者の主治医の他、協力医療機関のご協力をいただき、医療・介護・生活支援の一体的ケアを実施していきたいと考えています。
- ③ターミナルケアについては、医療連携体制を実施、ご本人とご家族の意向を踏まえたターミナルプラン作成を行い、ご家族に対し精神面や負担感に配慮すると共に全職員が看取り介護に関する共通認識を持ちます。
- ④行動障害がある入所者に対する対応としては、尊厳を持って最期まで自分らしくの生活をサポートし、入居者自身の生活スタイル『個別処遇』を守りケアの保障を原則としています。



ご清聴ありがとうございました。



介護保険事業所の休止について

1 運営主体	社会福祉法人 玉成会
2 施設名称	グループホームじよんのび2
3 施設区分	(介護予防) 認知症対応型共同生活介護
4 所在地	糸魚川市大字根小屋 1228 番地 7
5 開設年月日	平成 15 年 12 月 1 日 (令和 3 年 12 月 1 日更新)
6 休止年月日	令和 4 年 7 月 1 日
7 定員	9 人